一次研究用フォーム		データ記入欄			
基本情報	対象疾患	皮膚がん			
	タイプ	医学情報			
タイトル情報	論文の英語タイトル	Daily sunscreen application and betacarotene supplementation in			
		prevention of basal-cell and squamous-cell carcinomas of skin: a randmised controlled trial			
	論文の日本語タイトル				
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し ( 1 )			
	ガイドライン上での目次名称	SCC-CQ1-3 WEB版 SCC-CQ1-1			
	エビデンスの レベル分類	I. システマティック・レビュー/メタアナリシス			
		Ⅱ.1つ以上のランダム化比較試験による			
		Ⅲ. 非ランダム化比較試験による			
		Ⅳ. 分析疫学的研究 (コホート研究や症例対照研究による)			
		V. 記述研究(症例報告やケースシリーズによる)			
		VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見			
		( II )			
	Pubmed ID	10475183			
書誌情報	医中誌 ID				
	雑誌名	Lancet			
	雑誌 ID				
	巻	354			
	号	9180			
	ページ	723-29			
	ISSNナンバー				
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 ( 1 )			
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 ( 1 )			
the letter to	発行年月	1999	-r = 100 Hp		
著者情報	there is a	氏名	所属機関		
	筆頭著者	Green, A.	Epidemiology and Population Health		
			Unit, Queensland Institute of Medical		
			Research, Brisbane, University of		
			Queensland, Australia.		
	スの仏女女 1	Williams C	adeleG@qimr.edu.au		
	その他著者1	Williams, G.			
	その他著者2	Neale, R.			
	その他著者 3 その他著者 4	Hart, V.			
	その他著者 5	Leslie, D. Parsons, P.			
	その他著者 6	Marks, G. C.			
	その他著者で	Gaffney, P.			
	その他著者 8	-			
		Battistutta, D.			
	その他著者 9	Frost, C.			

その他著者 10	Lang, C.	
	Russell, A.	

	目的	$\beta$ カロチン内服とサンスクリーン剤による $BCC$ と $SCC$ の予防効果		
	研究デザイン	ランダム化比較試験		
	セッティング	オーストラリア南西クイーンズランド		
	対象者	上記在住者		
	対象者情報(国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず ( 3 )		
	対象者情報(性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (3)		
		1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児		
	対象者情報(年齢)	7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年		
		9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年		
		11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人		
		13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人		
		16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人		
		19.小児・中高年 20.小児・老人 21	青年・老人	
		22.年齢区別せず ( 22 )		
	介入 (要因曝露)	βカロチン内服、サンスクリーン剤の使用		
	エント゛ホ゜イント (アウトカム)	エンドポイント	区分	
	1	SCC,BCC の発生率	1.主要 2.副次 3.その他( 1 )	
V.T. A. O. T. I.	2		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
一次研究の8項目	3		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	4		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	5		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	6		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	7		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	8		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	9		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	10		1.主要 2.副次 3.その他 ( )	
	主な結果	サンスクリーン剤とβカロチンについて2 by 2 の群を作り 4.5 年間、		
		SCC の発生率について調査した。サンスクリーン剤使用群は対照群		
		にくらべて SCC の発生率が低かった (RR:0.61)。β カロチンと BCC		
		におけるサンスクリーン剤の効果はみられなかった。		
	結論	サンスクリーン剤の使用は SCC の発生を減少させる。		
	備考			
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原 久		
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 ( II)		
		オーストラリアのような紫外線の	強い地域に住む白人におけるサン	
		スクリーン剤の有益性を証明した貴重なデータである		